

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭（家庭分野）			学年	第1学年
時間数	35	教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）		
副教材	技術・家庭ノート 家庭分野（正進社）				

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指します。
学習の方法	生活をよりよくするための知識を習得し、家庭の機能について理解を深めます。 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するために、実践的・体験的な学習活動を行います。家庭での実践により知識と技術の定着を図ります。 互いに協力し合うことの大切さを学習するために、班活動や作業を行います。 生活をよりよくしようと課題を持って取り組む態度を身に付けます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実習記録表 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、グループでの話し合い、実習の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	A 家族・家庭生活 1 今の自分とこれから 2 家庭のはたらきと家庭の仕事 3 様々な家族・家庭 6 かかわり合う地域と家庭 7 持続可能な家庭生活	自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて学習します。家庭や家族の機能と地域との関わりについて学びます。 家庭生活は、地域との相互の関わりで成り立っていることを学びます。 持続可能な家庭生活について考えます。
2 学期	B 食生活 1 人間にとっての食事 2 食品と栄養素 3 中学生に必要な食事 4 日常食の調理と地域の食文化	栄養素の種類と働きを学び、中学生の1日に必要な食品の種類と概量について学習します。 生鮮食品や加工食品の特徴を理解し、選択・保存ができる力を付けます。 安全・衛生・環境に配慮し、食品や調理器具を適切に扱い基本的な日常食の調理をします。 肉・魚を使った調理計画を立てます。
3 学期	5 献立づくり 6 持続可能な食生活	和食の特徴を知り、地域の食材を使った料理を考えます。 栄養バランスのいい1日の献立を作る方法を学習します。 持続可能な食生活について考えます。

備考	調理実習では実習着を必ず着用しましょう。
----	----------------------

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭（家庭分野）			学年	第2学年
時間数	35	教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）		
副教材	技術・家庭ノート 家庭分野（正進社）				

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指します。
学習の方法	生活をよりよくするための知識を習得し、家庭の機能について理解を深めます。 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するために、実践的・体験的な学習活動を行います。家庭での実践により知識と技術の定着を図ります。 互いに協力し合うことの大切さを学習するために、班活動や作業を行います。 生活をよりよくしようと課題を持って取り組む態度を身に付けます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実習記録表 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、グループでの話し合い、実習の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	B 衣生活 1 衣服のはたらきと手入れ 2 衣服の選択と着方	衣服の社会生活上のはたらきを理解し、自分らしい着方について考えます。自分の衣服計画を立てます。 繊維の種類と特徴について学習します。 衣服の状態や材料に応じた手入れの方法について学習します。 和服の文化について学習します。
2学期	3 布を用いた作品で生活を演出（エプロン製作） 4 持続可能な衣生活	好みの色や柄の布を使って、自分に合ったエプロンを製作します。ミシンやアイロンなどの道具を安全に使用する方法を学習します。 資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考えます。
3学期	B 住生活 1 人間にとっての住まい 2 生活に必要な住空間 3 自然とともにある住生活 4 安全で健康的な住生活 5 持続可能な住生活	日本の伝統的な住まいの特徴や空間の使い方について学習します。 さまざまな災害に備えて、住まいの安全対策について考えます。 持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを学習します。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭（家庭分野）			学年	第3学年
時間数	17	教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）		
副教材	技術・家庭ノート 家庭分野（正進社）				

学習目標	衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てます。
学習の方法	生活をよりよくするための知識を習得し、家庭の機能について理解を深めます。 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するために、実践的・体験的な学習活動を行います。家庭での実践により知識と技術の定着を図ります。 互いに協力し合うことの大切さを学習するために、班活動や作業を行います。 生活をよりよくしようと課題を持って取り組む態度を身に付けます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実習記録表 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、グループでの話し合い、実習の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	A 家族・家庭生活 2 幼児の生活と家族	自分の成長を振り返り、幼児期へ関心を深めます。 幼児の体の発達とその特徴について学習します。 幼児の心の発達と特徴を理解し、かかわり方を考えます。 子どもが育つ環境としての、家族や周囲のおとなの役割について学習します。
2学期	3 幼児とのかかわり 遊び道具の製作 C 消費生活・環境 1 家庭生活と消費	遊び道具の製作などの活動を通して幼児の遊びの意義について考えます。幼児への関心を深め、関わり方の工夫ができるような能力を身に付けます。 消費生活のしくみについて学習し、計画的に金銭管理をすることが必要であることを意識づけます。
3学期	2 購入・支払いと生活情報 3 消費者被害と消費者の自立 4 持続可能な社会	消費者の基本的な権利と責任、販売方法の特徴等について学習します。また、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる力を身に付けます。 消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活をするように生活の見直しを行います。

備考	
----	--